

収量・品質を安定させたい！

～衛星リモートセンシング

&可変施肥ブロードキャスト～

1

どんなもの？

衛星リモートセンシング

人工衛星に搭載されたセンサーを用いてほ場の状態を調査すること

可変施肥ブロードキャスト

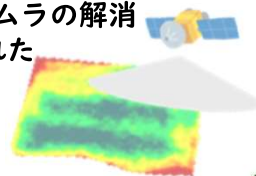
生育データ等に応じて施肥量を自動で調節する機能が付いたブロードキャスト

令和3年北海道指導参考事項

「秋まき小麦の起生期からの可変追肥体系による収量の安定化効果」

◇起生期に衛星リモセンデータを利用したマップを使い可変追肥を行うことでほ場内における生育ムラの解消（生育の平準化）につながる事が確認された

◇可変追肥を起生期から適用することで製品収量が6～18%増加した



2

実際に導入してみたら・・・

衛星リモセンによってほ場状況が見える化されるので生育状況が簡単に見られる！



ココがよかった！

肥料のかけ合わせがなくなって資材費の削減になった！
麦の倒伏も減少した！

可変ブロードキャストなら肥料を機器に投入した後は自動散布だから散布前の調整時間がほとんどなくなった！

英語の説明書しかなくて解読に手こずった

ココは考えなきゃ・・・



衛星リモセンは新しいサービスだからはじめはよくわからなくて不安だった

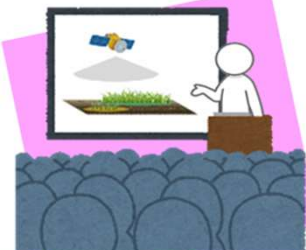
3

こうやって使いこなせるようになりました！

01

施肥マップが作れない

衛星リモセンサービスの会社から説明を聞いた
マニュアルを何度も読みながら使い込んで覚えた
施肥量の設定は普及センターに聞いた



02

施肥マップ
可変ブロードキャスト
トラクタ
が連動できない

メーカー等のYouTubeの動画を参考にした
（検索ワード「衛星リモセン、可変施肥」等）
地域の導入農業者からアドバイスをもらった

